

Bài nói chuyện bằng tiếng Nhật tại Đại Học Teikyo Heisei, có phụ đề Anh ngữ và Đức ngữ vào cuối tháng 3 năm 2017 nhan đề là : „Tại sao người Việt Nam lại bỏ nước ra đi“

帝京平成大学での講演のテーマ（1枚め）

どうしてベトナム人が外国に出ていくのか

1) 日本語について

私にとって日本語は外国語です。1972年（昭和47年）に初めて来日したときは日本語が全然わかりませんでした。私はベトナム人で仏教の僧侶です。

1971年（昭和46年）にベトナムで高校を卒業しました。その後は日本に留学したかったので、その手続きをするため在南ベトナムの日本大使館を訪ねて留学の申請をしました。その結果、1972年（昭和47年）2月22日に来日することができました。最初に私は日本語学校を探して、東京・四ツ谷の日本語学校で九か月ほど日本語を学びました。その後、大学の入学試験を受け東京・八王子の帝京大学文学部教育学部教育学科に入学しました。

日本に来る際は、保証人がいなければなりません。この時、秋山先生がベトナムに毎日新聞の記者として何回も来ていらしたので、取材をしているうちにひとつのベトナム人の家族と知り合いになりました。その関係で秋山さんに私の保証人になっていただきました。

今まで、計算するともうあれから45年も経ちます。昨年、2016年10月に日本を見学するためにドイツから38人の団体を連れて多くのお寺にお参りしました。（つづく）

(2枚め)

そのとき、秋山先生のご夫妻と神奈川県のアヱ川町にあるベトナム寺院で会いました。帝京大学について先生に聞いてみると、その情報はほとんどないとのことでした。なぜならば、私が1977年(昭和52年)の3月に大学を卒業してから私と大学の間にも何も情報がありませんでした。秋山先生が、私が書いた本を読んで、それでは帝京大学と連絡を取ってみましょうか、とおっしゃいました。

私は今年2017年(平成29年)の4月に再び来日し、秋山先生と内野教授に相談してから今日みなさんにはベトナム難民についてお話ししようと思います。

もう40年近く日本語を使わない日常生活から離れているので、日本語を話すのは下手ですが、もし私の日本語が分からなければ英語でもドイツ語でもフランス語でも話しましょうか？

2) 歴史について

大昔から今まで日本、韓国、ベトナムという国々は中国の影響を受けています。ですから、どうしても文学、宗教、習慣などがに通っています。しかし、日本語がその中で漢字だけでなく、(つづく)

(3枚め)

ひらがな、かたかな、ローマ字もあります。また、漢字には音読み（おんよみ）と訓読み（くんよみ）の違いもあります。

その改革が700年ぐらい前の13世紀に空海大師（弘法大師）から発表されました。

(クオンさん、赤い部分がよくわかりません)

外国人が日本語を勉強するなら最初はローマ字、そして漢字、ひらがな、かたかなという順番が良いかもしれません。

現代の日本の茶道、華道、剣道、柔道などは中国からの影響があります。

振り返ってみると歴史的には、1868年に始まった明治維新により、日本の学者がヨーロッパからいろいろな技術を学んだため、今の日本があるわけです。ベトナムの場合は少し違います。16世紀まで伝統的にベトナム人は生活の中で漢字を使っていました。その後、ヨーロッパの人々がベトナムに来て、その発音を聞いてローマ字を編み出しました。19世紀までお寺の中には漢字がほとんど残っていません。

1904年に日露戦争が起こったが、日本は負けてベトナムの国はそのときフランスの植民地になりました。ベトナムは苦しくてたまりません。あるベトナムの革命家（Phan Boi Chau）が留学生・日本に主張されました。

そして、第一次、第二次世界大戦が世界中に（つづく）

(4枚め)

起こりました(第一次世界大戦:1914年~1918年、第二次世界大戦:1939年~1945年)。世界に平和はみられなくなり、大混乱におちいりました。昭和時代に「大東亜共栄圏」主義を主張したベトナム国もその影響を受けました。日本が敗戦となり大東亜主義は忘れ去られました。戦争目的が何であるかは分かりませんが、人間が死んでいろいろな多くの損害をこうむりました。

3) 国とともに戦う

1954年(昭和29年)7月20日、ベトナム国がジュネーブ会議で二つに分かれ、南ベトナムが共和主義、北ベトナムが共産主義になりました。

国が二つに分断されたのはベトナムだけでなく、かつてのドイツの東西、現在の朝鮮の南北もそうです。

1954年(昭和29年)から1963年(昭和38年)まで南ベトナムがゴ・ディン・ジエム大統領を領導してアメリカ政府からの大きい影響がありました。しかし、その家族はカトリックであり、宗教の不平等を主張して仏教が弾圧されました。ベトナム人のティック・クアン・ドック大師が焼身自殺した事件は世界をアツといわせました。それをきっかけに1963年(昭和38年)11月1日に軍事クーデターが起こり、それは成功しました。その結果、グエン・バン・チュー大統領により南ベトナムは第二共和国、自由主義で引き続き領導しました。1975年(昭和50年)4月30日のサイゴン陥落により、南ベトナムが北軍に奪い取られました。

(4枚めおわり)

(5枚め)

北ベトナム、東ドイツ、北朝鮮と比べると日本は良いと思います。なぜならこれらの国は、共産主義の影響があります。北ベトナム政府は中国と連携して戦争に援助を受け、南ベトナムとともに戦いました。しかし、グエン・バン・チュー大統領の政府が負けたためベトナム人の多くは外国に自由を求め、逃げ出しました。

4) どうしてベトナム人が統一独立後に外国に逃げたか？

正しい理由が自由を探しに行きます。国の政策が良ければベトナム人はどこにも行く必要はありませんでした。1975年(昭和50年)

から1980年(昭和55年)まで北ベトナムの共産主義が南ベトナムの自由主義をおさえたので、ベトナム人は我慢できませんでした。そこで人々は外国の自由を求めました。みなさんは現在の北朝鮮と韓国の状況をみればそれは分かると思います。自由はお金で買えるものではありません！自由の国で生活していて、自由の価値が分からないとしたらもったいないことです！いつか自由がなくなるとそのとき自由を探しても間に合いません。

1975年(昭和50年)の前には南ベトナムから二千人の留学生が来日しました。しかし、そのとき日本政府は難民を受け入れる政策がなかったため(つづく)

(6枚め)

アメリカ、オーストラリア、あるいはヨーロッパに逃げました。1980年度（昭和55年）から2000年（平成12年）まで日本政府は国際連合（United Nations）からの政策を受け、何千人ものベトナム難民を受け入れました。その世代の人は、現在三十年以上日本国内で活躍し、日本の社会でいろいろなことを日本人とともに一生懸命働いています。おかげさまで私たちベトナム人は日本政府に感謝しています。ありがとうございます。

2017年度（平成29年）まで外国にいるベトナム人は約三百万人です。どの国においてもベトナム人は学問に熱心です。ベトナム人が最も多く住んでいる国はアメリカ合衆国です。

ベトナムの第一世代が生活習慣や言語について、難しいこともあります。第二世代からはその国の言葉について問題はありません。今、一番大きな問題は母国語のベトナム語をこども達は忘れてしまうことです。その国の言葉は国語として使っているのです。両親が困ります。このことは日本人においても似ています。

私はサンフランシスコ、オーストラリア、アンカレッジ、ハワイなどで日本人の顔を見て日本語で話しても全然通じません。ただ、「ありがとう」と感謝の言葉を言うだけです。「もし日本語で話したければ、私の父と話してください」と英語では答えられます。ベトナム人も中国人も同じです。（6枚めおわり）

7) 東欧（東ヨーロッパ）をみてごらん

最初は、1989年（平成元年）11月9日は歴史的な日です。東西ベルリンの壁が取り去られました。こうして東ドイツの共産主義がなくなりました。東ドイツは1949年（昭和24年）から1989年（平成元年）までの40年間しかありませんが、西ドイツと比べると両国民の生活には違いがあります。

これまでの29年間、東西ドイツが統一されたものの、考え方や経済的な面で大きく区別されています。平等についても両国社会の根本的な思想が違います。共産主義とは何かをドイツの現状をぜひ見て考えてください。もうひとつは、東ヨーロッパの国々の中でもソビエト連邦（現在のロシアがあり、1990年（平成2年）から2017年（平成29年）の今までを見ると27年間にもなりますが、東ヨーロッパと西ヨーロッパの生活を比べるとまだまだ遅れています。なぜならば、共産主義は長い間、東欧を統治していたことが原因だからです。

みなさんは、日本人であることは本当に幸いだと思います。それは、日本では何をすることも自由であり、誰に何を話しても心配ありません。しかし、ベトナムや北朝鮮ではそうはいきません。ですからみなさんは毎日を大切に過ごしてください。

(8枚め)

第二次世界大戦は1945年(昭和24年)に終わりました。日本はアメリカとの戦いに降伏しましたが、もし、ドイツも日本もアメリカからの援助がなければ今のようにドイツと日本という国々が立派にならなかったでしょう。

その中で、もちろん日本人とドイツ人の勤勉さは世界中どこの国をみても見つからないほど立派です。

6) 私にとって

私たちは、日本とドイツに感謝しなければならないと思います。私はベトナムの出身であることはお話ししましたが、1964年(昭和39年)に僧侶になってお寺で生活しながら学校に行き、外国にも行くのはこれも何かの縁です。

1972年(昭和47年)に来日したとき、私の予定は大学か大学院を卒業して自分の国ベトナムに戻り、学力を生かして国と仏教に尽くすことが一番良いと考えていました。しかし、そうではなくなりました。

私は今まで、ベトナムと日本以外に世界五大陸の中で73ヶ国を訪問しました。しかし、どこに行っても何をしていても年をとるといつもホームシックになります。「郷にいれば郷にしたがえ」という日本のことわざがありますが、それを思うと母国語、故郷を思い出したときにいつもこれらが心の中に残っていることを改めて思います。(8枚めのおわり)

(9枚め)

私にとってフランス語は第一外国語であり、英語は第二外国語、そして日本の大学で勉強したのは顔などが日本人に似ているのでそうしたのです。

大学の卒業論文を日本語で書かなければなりませんでしたが。卒業から40年ほど経って日本をはなれたにもかかわらず、日本語をまだ憶えていることは不思議です。

1977年(昭和52年)に私はひとりで当時の西ドイツに来ました。ドイツ語は全然分かりませんでした。今はドイツ人に対してドイツ語でお説法ができます。ドイツの大学で勉強しながらお寺の面倒をみて「円覚寺」というお寺をドイツの北、ニーダーザクセン州のハノーヴァーに建立しました。ベトナム人の仏教徒だけでなく、いろいろな国の人々が私たちのお寺にお参りに来ます。

今はドイツ人が仏教を理解しているので、感動(感謝)しています。

2003年(平成15年)度まで私にとって、出家した弟子は45人います。在家の弟子は約7千人です。25年間でドイツの円覚寺の住職になったため、弟子に伝えたのち、お寺の「師(長老)」になりました。

私は、出家してからすでに53年が経ちます。(1964年(昭和39年)から2017年(平成29年)の53年間)その間、時間を利用して本を68冊くらい出版しました。その中では、ベトナム語はもちろんのこと、日本語もあり日本語からベトナム語に翻訳もしました。中国語、英語、ドイツ語などの本もあり多くの(9枚めおわり)

(10 枚め)

テーマがありました。そのほとんどは、仏教、文字、げ術、教育などに関する本です。日本語からベトナム語に翻訳したのは 10 冊ぐらいです。それらは、原始的な研究教団仏教、臨済宗、浄土真宗、曹洞宗、真言宗、法華経、禅宗などをベトナム人とドイツ人に紹介しました。

どこに行っても英語は重要ですからみなさんのような若い世代のかたが、日本で一層成長して一生懸命勉強してください！（人生はずっと勉強することが大事です）

お釈迦さまがおっしゃるのには「すべて法は無常と苦と無我であり」です。すから何か形や色（色相）があれば、それは全部無常です。無常の原因は苦であり、もし無我を悟ってあきらめるならばこれは私ではありません。私に自己もありません。誰があきらめることができれば仏教の教えが理解できます。

その関連でいえば、日本と外国で 45 年間もお世話になったのもその縁です。仏さまは次のように言いました。「これが生まれたからそれも生まれる、もし、これがなければあれない」。少し難しいかもしれませんが、その原因と結果、その空の関係が般若心経の中に書かれています。中国人でも日本人でも、韓国人でも、ベトナム人でも、あるいは今ヨーロッパ人でも、その意味をわかるようになった。

だから仏教は本日アジアしか存在しないで、世界中しゃかんになった。

最後に秋山先生の御夫婦と帝京平成大学の内野教授と私の昔しの同級生伊田さんに、まことにありがとうございます。

では、もしあなたがたから質問があれば、何の外語で使ってもこんもいません！

合掌

ドイツのベトナムの圓覺寺方丈

釋如典 (THICH NHU DIEN)

レ・クオン (LE CUONG)

1973 年度八王子の帝京大学の留学生